


征露

日記

十時明治三十七年二月

国境の変動・変容と
人びとの意識変容・行動変容
—南方史と北方史の邂逅

Online seminar 

写真提供：前利潔氏

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターは、共同利用・共同研究拠点として公募による事業を行っています。今回は、プロジェクト型に関する共同研究に関して、セミナーを開催します。「国境の変動・変容と人びとの意識変容・行動変容—南方史と北方史の邂逅」がテーマですが、奄美と北方史をつなぐ報告です。

報 告

平井一臣（鹿児島大学法文学部）

「沖永良部出征者が見た朝鮮：大納宮継征露日記（前利潔氏発掘）を手がかりに」

天野尚樹（山形大学人文社会科学部）

「『引きちぎられた』南の境界：日本と沖縄と奄美のあいだ」

司 会 岩下明裕（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）

開催日時：2022年2月21日（月）16：00～18：00

参加方法

下記アドレスにて参加登録をお願いします。

登録後に Zoom ウェビナーへの接続アドレスをお送りします。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_gNhnd67XTpCMBhZp7X3LYQ

※Zoomを使用したオンライン会議です。インターネット環境とPC、スマホ、タブレット等があればご自宅やオフィスからお気軽にご視聴いただけます。参加費無料。



参加登録フォーム

主 催 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

後 援 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

お問い合わせ：join_us@slav.hokudai.ac.jp（担当・岩下）

